

目 次

- 1 . データベースの利用対象者に関する Q & A
- 2 . 着任・退職、異動・昇任時等に関する Q & A
- 3 . 入力必須項目、過去の業績入力等に関する Q & A
- 4 . ホームページの公開・非公開に関する Q & A
- 5 . 公開HPに掲載される講座・研究室の構成員氏名に関する Q & A
- 6 . 刊行論文、著書、学会発表等の業績入力全般に関する Q & A
- 7 . 刊行論文の掲載基準、入力方法等に関する Q & A
- 8 . 著書の掲載基準、入力方法等に関する Q & A
- 9 . 学会発表の掲載基準、入力方法等に関する Q & A
- 10 . 管理者からのデータ一括入力に関する Q & A
- 11 . ReaD との関係に関する Q & A
- 12 . 業績年報作成に関する Q & A
- 13 . ログイン、アクセス、タイムアウトその他機能面に関する Q & A
- 14 . その他の Q & A

1. データベースの利用対象者に関する Q & A

Q：東邦大学教育・研究業績データベース（以下 業績 DB）の対象者は誰か

A：助教以上（教授、准教授、講師、助教）の専任教員が対象です。

Q：ポストドクター、シニアレジデント等大学の人事マスターに登録されていない者は ID、パスワードが配布されないが、本データベースの対象外か。業績年報に業績を掲載できないのか。

A：人事マスターが無い場合、個人のデータベースとして情報を蓄積することはできませんが、専任教員との共同研究業績がある場合には、専任教員が自身の業績を登録時にシニアレジデント等を共同研究者として登録することにより、業績年報画面にはシニアレジデントも共同研究者として掲載されます。

またシニアレジデント等 ID・PWの無い方の単著等を業績年報画面に反映させるには、教室責任者宛に通知された講座用 ID・PWで教室責任者または指示を受けた講座担当者が刊行論文、著書、学会発表欄から個別に入力して頂きます。

Q：客員教授は本データベースを利用できるか。

A：ID、PWは専任教員に配布されますので、客員教授はご自身で入力することはできません。専任教員と共同研究された業績については、専任教員が入力すれば業績年報には客員教授のお名前も共同研究者として掲載されます。

Q：ID、パスワードがわからない。

A：専任教員の ID・PW は、***@*.toho-u.ac.jp の WebMail をご利用時に、システム部から送付された「WebMail アカウント通知書」に記載されている「ユーザー ID」と「初期パスワード」(初期パスワードを変更されている場合は変更後のパスワード)です。

また講座・教室責任者宛には平成 21 年 4 月に個別に通知した講座編集用の ID,PW を引き続きご利用ください。

忘れてしまってどうしても思い出せない等の場合はシステム部までご照会ください。

(法人本部システム部 内線：大森 2152)

2. 着任・退職、異動・昇任時等に関するQ & A

Q：新たに本学に着任した教員はすぐに本データベースを利用できるのか。

A：毎月1日付の人事発令に基づいて管理者が人事マスター登録をしますので、それ以降は個人業績の入力や個人調書等の出力は可能です。但し業績年報画面にはすぐに反映されません。

当該年度の業績年報には当該年度の4月1日時点の在籍者が掲載されますので、例えば平成21年4月2日以降に着任された教員が業績年報画面に反映されるのは、平成22年7月からになります。(22年6月末までは20年度の業績年報画面が掲載されます)

Q：異動・昇任等の発令を受けた場合は自分で入力するのか

A：講座間の異動・昇任等で人事マスターが変更された場合には、これが直ちに反映されないため、必要最低限の入力は管理者が行います。原則毎月1日付で人事発令がありますが、当月の10日までを目処に処理を行います。

その結果は職歴欄に反映されますが、内容が不十分な場合(例えば併任部分が記載されていない等)がありますので、内容は必ずご確認をお願いし、必要な場合はご自身で「職歴」メニューから追加入力をお願い致します。

Q：年度の途中で講座の教授の退職に伴う異動があった場合はどうなるか？

A：例えば平成21年9月に教授が退職した場合は、業績年報画面は平成22年6月末までは変更されません。新任の教授は着任時点から業績、個人情報等の入力や個人調書の出力はできますが、業績年報画面に反映されるのは22年7月からになります。退職者の人事マスターの削除は管理者が行います。

Q：関連病院出向、関連病院出向(国公立)、出張、休職等の場合の扱いはどうか。

A：関連病院出向、出張、休職の場合は人事マスターは本学の講座・研究室にありますので、特に対応しません。この場合業績年報画面の当該年度研究業績数一覧表に氏名が掲載されます。また、関連病院出向(国公立)の場合も一旦職が解かれることから、データベース上は休職扱いとなりますので、当該年度研究業績数一覧表に氏名は掲載されます。講座・研究室の都合上、関連病院出向、出張、休職等の場合で、当該年度研究業績数一覧表の氏名欄から削除したい場合は、管理者までご連絡下さい。

Q：一人の教員がA講座とB講座を併任する場合は、どうするのか。

A : システムの制約上、ひとつの ID・パスワードで二つの講座に入力することができません。管理者から併任講座専用の ID・パスワードを発行します。

3. 入力必須項目、過去の業績入力等に関する Q & A

Q：項目は全項目入力しなければいけないのか。

A：東邦大学業績年報画面に反映される「刊行論文」「著書」「学会発表」については最低限、各専任教員が前年度分を6月末日までにご自身で入力をお願いします。また講座・研究室共通の業績年報画面の入力をご担当される方についても6月末日までの入力をお願い致します。管理者は7月1日付の業績データをベースに前年度の東邦大学業績年報を発刊します。

Q：メニューの項目にある（入力必須）（入力推奨）（任意）の基準は？

A：入力必須：東邦大学業績年報発刊のための必須項目

入力推奨：個人調書反映項目

任意：その他

Q：2001年度以前の自分の業績は必ず入力しなくてはいけないのか。

A：2007年度以前の業績の入力については任意です。但し2008年度以降の業績については業績年報を作成するために必ず入力をお願い致します。

Q：2年前に東邦に着任したが、それ以前の業績データは自分で入れるのか。

A：東邦大学ご着任前の業績についてはご自身で入力をお願い致します。着任以前に東邦大学の教員と共同研究の実績がある場合は、「刊行論文、著書、学会発表の入力について（共通項目）」をご参照下さい。

Q：登録画面に「すべての内容の確認が終了した方はチェックを入れてください」との確認欄があるが、これは必須か。

A：この確認は ReaD への情報一括提供時等、管理者が入力者の入力作業進捗状況の確認・チェック等に使用するものです。管理者から依頼があるまではチェック不要です。

Q：学歴、職歴等の新規登録欄に（日）（英）に入力区分が分かれている欄があるが、これは両方入力する必要があるのか。

A：（英）欄は ReaD の英文ホームページに反映されるものです。本学は当面 ReaD への一括情報提供は行いませんので、（英）欄に入力しても ReaD の英文 HP には自動的に反映されません。また個人調書等にも反映されることはありませんので、当面（英）欄への入力は不要です。

（英）欄があるメニューテーブルは以下の項目です。

「学歴」「職歴」「所属学会」「現在の専門分野」「研究課題・受託研究・科研費」「受賞学術賞等賞罰」

4 . ホームページの公開・非公開に関するQ & A

Q : 入力した個人情報や業績は全てホームページで一般に公開されるのか。

A : 講座・研究室単位の業績年報画面は全て公開されます。教員個人の研究者情報に関しては、情報公開可否画面の「研究業績ホームページでの公開」を「非公開」とすれば、東邦大学業績年報画面に反映される、役職・氏名以外は非公開となります。「公開可」とすれば、業績年報画面の「当該年度研究業績数一覧表」の氏名欄にリンクが張られ、そこから教員個人の研究者情報画面に展開します。

また「研究業績ホームページでの公開」を「公開可」とした上で、業績毎に「公開」「非公開」を選択することができます。

「刊行論文」「著書」「学会発表」については個人入力データが、そのまま業績年報画面に反映されますのでご注意ください。

Q : 入力の際の作業においては、必ず公開または非公開を選択しなければいけないのか

A : デフォルトで非公開になっているので、公開する場合はチェックを入れる作業が必要です。

5 . 公開HPに掲載される講座・研究室の構成員氏名に関するQ & A

Q : 公開ホームページの講座・研究室名の下の構成員に助教の名前がない。

A : 公開ホームページの講座・研究室名の下には、これまでの業績年報の記載ルール通り講師以上の氏名を自動出力しています。助教の氏名は当該年度研究業績数一覧表への記載となります。システムの制約上以上のルールで統一させて頂きましたのでご理解をお願い致します。

Q : ポストドクター、シニアレジデントの氏名が業績年報画面の当該年度研究業績数一覧表に出力されていない。

A : 大学の人事マスターに登録されていないため、自動的に出力されていませんが、教室責任者宛に通知された講座用ID・PWで教室責任者または指示を受けた講座担当者が当該年度研究業績数一覧表に氏名を追加入力することができます。

6. 刊行論文、著書、学会発表等の業績入力全般に関するQ & A

Q：自分でワードやエクセルに保存している業績データを移行したいが可能か。

A：以下の手順で可能です。

刊行論文、著書、学会発表の登録画面の上の「一括更新」ボタンをクリックします。

「一括ダウンロード」欄と「一括更新」欄が展開されます

「一括ダウンロード」欄で登録したい業績（刊行論文、著書、学会発表）をラジオボタンで選択します。

ダウンロードボタンをクリックすると、エクセルファイルをダウンロードできますので、ご自身のパソコンに保存してください。

で保存したエクセルファイルを開き、既存のワード、エクセルファイルからコピー＆ペーストする等して保存します。

入力項目の詳細を記した参考資料は「操作マニュアル」に添付してあります。

「一括更新」欄で更新対象をラジオボタンで選択します。

「参照」で取り込み対象のファイルを指定します。

「更新ボタン」をクリックします。

Q：刊行論文、著書、学会発表の入力で、共同研究、共同執筆の場合は代表者1名が入力しないと二重登録になるとのことだが、誰が入力するのか。

A：同一講座・研究室内の共同研究者間、また複数学部にわたる学内共同研究者間で調整が可能な場合は、適宜ご研究者間で相談頂き入力者を決定してください。調整が着かない場合等は、原則は筆頭著者が入力することとします。筆頭著者が学外の場合等は執筆順位が上位の方に入力して頂きます。学会発表の場合は、プログラムの上位にある演者が入力することとします。

Q：他の研究機関に在籍時に、東邦大学の教員（A）と共同研究の実績がある者（B）が、東邦大学の教員として着任した場合、BはAとの共同研究の業績も個別に入力する必要があるか。

A：教員Aが、Bとの共同研究の業績を正確に登録してある場合には、教員Bは刊行論文、著書、学会発表の新規登録画面から業績検索でご自身の該当する業績を選択し、学内研究者にご自身の名前を追加することで登録が可能です。

Q：刊行論文、著書、学会発表の新規入力において、共著者の職種の入力は必須か。学外の共著者等の場合に、職種が判らないこともある。

A：学内研究者の場合は人事マスターより選択入力するため、職種の入力は不要です。
学外研究者の場合は、自由入力欄に入力して頂くこととなりますが、職種の入力の有無に関してのチェックはありませんので、不明であれば入力不要です。

Q：刊行論文、著書、学会発表を入力したあとに、登録状況を確認したいが、どのような確認方法があるか。

A：

各管理項目一覧の上部にある「ダウンロード（Excel形式）」ボタンより印刷して確認することができます。

講座担当者が業績年報画面の刊行論文、著書、学会発表欄を画面上若しくはペーパーに出力して確認することができます。

Q：登録した業績をダウンロードする際に、欧文論文だけを絞ってリスト化する等の機能はあるか。

A：現時点では出力条件にそのような条件指定ができないため、メニュー項目単位で全てのデータがダウンロードされます。

Q：研究業績の項目が、「刊行論文」「著書」「学会発表」だけで「AV・IT資料」が見当たらないがどこに分類するのか。

A：AV資料、IT資料はその収録内容によってどこに分類するのかをご判断ください。

なお、ここでいうAV資料等は、DVDやCD-ROMの形で刊行されるもので、学術的な内容を持つものを指します。テレビやラジオの出演などは含みません。

Q：6月末までに前年度分の業績を入力するルールだが、4月から6月以外の期間も入力可能か。

A：稼動後は随時入力可能です。寧ろ業績発表の都度ご自身の業績を入力して頂ければ、6月末に集中して作業する必要がなくなります。

入力の際は、必ず入力年度をご確認下さい。

Q：結婚や離婚で苗字が変わった場合は、一から入力しなおすのか。

A：業績はIDに紐づいているので、結婚・離婚等でもIDが変わらなければ入力し直す必要はありません。また本名と業績公開時点の名前を分ける場合は、「個人情報」から「通称名」を入力して下さい。外部公開時は「通称名」が優先されます

7. 刊行論文の掲載基準、入力方法等に関するQ & A

Q：刊行論文の掲載基準について

A：これまでの業績年報作成時の基準と原則同じです。

次の定義に沿った論文。ただしnon-academicなものは除く。

- ・和文論文：原則として医学中央雑誌に掲載されている論文で、学会抄録・会議録は含まない。
- ・英文論文：原則としてPubMed(Medline)に掲載されている論文で、「和文 Abstractのみ」の論文は含まない。東邦医学会雑誌の英文論文は含めてよい。

刊行論文（原著）

科学的な研究方法が必要に応じて文献引用を含めて明示され、それに基づいて新知見または創意が引き出され、従来の諸文献を踏まえた考察が十分なされている論文。短報、資料を含む。

刊行論文（総説または解説）

- ・総説：ある特定の問題について、これまでに発表された重要な文献を、公平で総合的な観点から批判・論評を加え、今日までの進歩のあとや現状が容易に把握できるように企画した論説。
- ・解説：医学または関連領域の専門家ないし学生に対して、ある特定分野における問題の原理、全貌を説明したもので、必ずしも文献引用の必要はない。

刊行論文（症例報告）

刊行論文（その他）

班研究報告書、学術雑誌に掲載された上記以外のもの。学術雑誌以外の雑誌への投稿・寄稿など。タブロイド医学新聞、一般向け雑誌。

掲載しないもの（例）

- ・学内外のニュース・新聞（Toho Now、医学部 News など）
- ・東邦医学会雑誌への寄稿（巻頭言・論評など）
- ・製薬会社の冊子（パンフレットなど）
- ・座談会
- ・テレビ、ラジオ等出演

Q：厚生労働科研の年度研報はどこに業績として登録すればよいのか。

A：刊行論文に登録して下さい。

Q：刊行論文の掲載誌名等の正式名称をいちいち確認するのは面倒。

A：掲載誌名欄の [参照] ボタンをクリックすると、主要誌が検索・選択できます。これで検索できない場合は個別入力をお願いします。

8. 著書の掲載基準、入力方法等に関するQ & A

Q：著書の掲載基準について

A：これまでの業績年報作成時の基準と同じです。

「著書」の範囲はNACSIS Webcat（国立情報学研究所の提供する全国大学等の図書館で所蔵する図書総合目録）に収録されていることを基準とします。従いまして、この目録に収録されていないような、パンフレットや広報誌のようなものは含まれません。

「著者」と「共著」については以下を原則として下さい。

- a) 単独著者の場合：特に問題なく普通に記述する
- b) 単独編者の場合：筆頭著者名に続けて（編）と記述する
- c) 共編者の場合：自分の名前を筆頭とし（共編）と記述する
- d) 単独訳、共同訳の場合：自分の名前に続けて（訳）もしくは（共訳）と記述する
- e) 著作の一部（一章など）を分担して執筆の場合：自分の名前に続けて（分担）と記述する

著者、編者等が学内に複数名いる場合は、二重登録にならないように登録者を1名に絞って頂く必要がありますが、同一講座・研究室内の共同研究者間、また複数学部にわたる学内共同研究者間で調整が可能な場合は、適宜ご研究者間で相談頂き入力者を決定してください。調整が着かない場合等は、それぞれa)からe)の優先順位で上位のものが入力するものとします。上位のものが学外者の場合は学内上位のものが入力するものとします。

9. 学会発表の掲載基準、入力方法等に関するQ & A

Q：学会発表の掲載基準について

A：これまでの業績年報と同様に、以下をご参照下さい。

演者として発表した教室員に関して掲載できます。座長・司会は含みません。

国内学会

全国学会、地方支部主催・分科会主催学会、他学会との合同学会など。またそれに準ずる学会・研究会になります。東邦医学会もこちらに含みます。

国際学会

その他

上記、以外。講習会、研修会、講演会、班会議、医師会主催勉強会、企業共催の研究会・シンポジウム・ミーティング・フォーラムもこの項目になります。

Q：当該年度研究業績数一覧表の学会発表の（ ）内の基準は。

A：当該年度研究業績数一覧表の学会発表の項目については、演者 = 発表者になります。

発表数中に以下の項目が含まれる場合は、その数を（ ）で括り、内数で入力してください。

特別講演、招請講演、宿題報告、会長講演、基調講演、受賞講演、教育講演(セミナー、レクチャーを含む)、シンポジウム、パネル(ラウンドテーブル)ディスカッション、ワークショップ、公開講座、講習会

10. 管理者からのデータ一括入力に関する Q & A

Q：メニューの「個人情報」は既に自分の名前が入っているが、誰が入れたのか

A：業績 DB 稼動前に管理者サイドで以下の項目を移行しました。

# 教員コード	： 移行済み、HP 非公開(選択不可)
# 氏名(カナ)	： 移行済み、HP 公開(選択不可)
# 氏名(ローマ字)	： 移行済み、HP 公開(選択不可)
# 氏名(漢字)	： 移行済み、HP 公開(選択不可)
# 通称名(カナ)	： 移行無し、入力が必要、HP 公開の選択不可(調書出力用)
# 通称名(ローマ字)	： 移行無し、入力が必要、HP 公開の選択不可(調書出力用)
# 通称名	： 移行無し、入力が必要、HP 公開の選択不可(調書出力用)
# 生年月日	： 移行済み、HP 非公開(公開も選択可)
# 性別	： 移行済み、HP 非公開(公開も選択可)
# 本籍	： 移行無し、入力が必要、HP 非公開(HP 公開の選択不可(調書出力用))
# 住所	： 移行無し、入力が必要、HP 非公開(HP 公開の選択不可(調書出力用))

Q：個人情報以外に管理者が事前一括入力した項目はあるのか。

A：個人情報以外では、平成 13 年度から平成 19 年度まで過去 7 年分の業績（刊行論文、著書、学会発表）と、平成 22 年 4 月 1 日時点の職位と所属講座名が入力されていません。

Q：なぜ 7 年分の業績データしか移行しないのか。それ以前のデータも移行して欲しい。

A：東邦大学業績年報の電子データとして一括して保管されているのが 2001 年度以降分であり、その分については全て移行致しました。それ以前の分につきましては必要に応じてご自身でご入力をお願い致します。

また 2001 年度から 2005 年度までの 5 年間についての移行データについては確認が出来て問題点も把握できていますが、2006 年度と 2007 年度の 2 年分については原データである東邦大学業績年報の電子データの仕様がそれ以前の 5 年分と異なっているため、移行データの内容が十分に確認できておりません。この 2 年分については先生方ご自身で改めて内容のご確認をお願い致します。

11 . ReaD との関係に関する Q & A

Q : ReaD への一括情報提供はなぜすぐに利用できないのか

A : 本データベースと ReaD 間でリアルタイムに更新する機能は、ReaD 側にも取り込み機能が無いためできません。管理者が本データベースの業績を取り纏めて CD 等で ReaD に更新を依頼する作業が必要です。

稼働時点では管理者にまだそのノウハウが無く、また稼働後教員の過去の業績データの蓄積が十分でない中で ReaD への一括情報提供を行うと、本データベースに入力された業績分だけが、現在登録されている ReaD の業績ストックに上書きされることになり、ケースによっては ReaD に蓄積された貴重な業績が消滅する恐れがあるため、もう暫く様子を見て慎重に対応する方針です。

Q : ReaD のデータは取り込めないのか

A : 本データベースは ReaD よりも入力項目が細分化されています。移行先を十分に確認・判断した上で作業する必要があるため、機械的な一括取り込みはできません。

12. 業績年報作成に関する Q & A

Q：平成 20 年度以降の東邦大学業績年報の作成はどうなるのか。

A：平成 20 年度以降の東邦大学業績年報から、業績 DB 経由の作成になります。

教員個人は毎年 6 月末日までに前年度の業績（刊行論文・著書・学会発表等）を入力します。また講座・研究室の責任者（または責任者から指名された者）は講座概要等の共通部分を 6 月末日までに入力し、管理者は 7 月 1 日付のデータをもって東邦大学業績年報を発刊します。（当面は従来どおり CDROM を作成します）

ホームページ上でも毎年 7 月 1 日をもって業績年報画面の年度表示が切り替わることとなります。

当該年度の業績年報がホームページでアップされるのは翌年 7 月 1 日となります。

（例：2009 年度業績年報 2010 年 7 月 1 日アップ）

Q：過去の業績データを入力しないと、過去の業績年報画面がホームページで閲覧できないのか

A：平成 19 年度版までの東邦大学業績年報は CDROM 化して作成してありますので、これを活かします。平成 20 年度以降は業績 DB に業績データを蓄積し、ホームページで過去（20 年度以降）の業績年報画面が閲覧できるようになります。当面従来通り CDROM も作成する予定です。

Q：講座の編集担当者は業績年報画面は全てメニュー項目から入力しなくてはならないのか。当該年度分のデータが別に管理しているワード・エクセル等のファイルに入っているが、それを活かさないか。

A：講座概要画面についてはコピー＆ペーストで切り貼りが可能です。更に平成 21 年度版の作成からは、講座概要データコピー画面から、過年度のコピー対象を選択して該当部分のコピーが可能となります。

Q：「研究課題・受託研究・科研費」入力時に、研究費や補助金も共同研究者複数名で申請するケースがあるが、刊行論文等の共同研究の場合に共同研究者の代表 1 名が入力しないと二重登録になってしまうように、この場合も代表者 1 名が入力するのか。

A：刊行論文、著書、学会発表は個人で入力したデータが、業績年報作成基礎データにリンクしていますが、それ以外の項目、例えば「研究課題・受託研究・科研費」は、業績年報画面の「当該年度の研究費受入状況」にリンクはしていません。従いまして、共同申請者はそれぞれで入力して頂く必要があります。また講座担当者は、講座・研究室の「当該年度の研究費受入状況」を纏めて入力して頂く必要があります。

Q：講座は一つでも、実際の診療場所が大森・大橋・佐倉に分かれているが、その場合でも講座用のID・PWは一つしか配布されないか。

A：原則、講座・教室責任者宛に一つの配布になります。東邦大学業績年報と同じ画面がホームページで公開されますので、掲載内容の公正性は講座・教室責任者の責任において担保される必要があります。責任者の指示により複数の講座担当者がID・PWを使用して入力を行うことは可能ですが、最終的な掲載内容については講座・教室責任者に確認をお願い致します。なお複数の講座担当者が同じ業績を編集した場合には、後から登録を行った方の入力内容が優先されますのでご注意ください。

Q：講座責任者（責任者から命ぜられた担当者）が業績年報の業績（刊行論文、著書、学会発表）を確認していたら、その内容に不備（二重登録や誤字等）があった。その場合の訂正方法は。

A： 入力者に指示して修正登録してもらおう。

講座責任者（担当者）が業績年報 刊行論文、著書、学会発表から入って修正登録する（修正登録後は、最終更新者の方にご連絡ください）。

登録画面の更新ボタンをクリックすると、更新画面の最下段に最終更新者名が表示されます。

各業績は共同研究者で共有しているため誰か1名が修正すると共同研究者の業績にも反映されます。

Q：概要欄を、3病院あるいは幾つかの分野毎に別の担当者が入力する場合の注意事項は。

A：概要欄を各病院あるいは分野毎に別の担当者が同一のID、パスワードを使用して入力するケースが想定されます。タイトル欄に「1．大森病院」「2．大橋病院」「3．佐倉病院」というように番号を振れば、その順番で記載されます。番号がない場合には入力順に表示されます。また表示順を入力すればその順番が優先されます。タイトルの無い文章を概要の一番初めに掲載する場合は、表示順1としてタイトルはブランクのまま概要欄に文章を入力すれば概要のトップに掲載されます。

13. ログイン、アクセス、タイムアウトその他機能面に関するQ & A

Q：ログインはいちいちアドレスを入力しなければいけないのか。

A：大学ホームページのトップページ左下に、東邦大学教育・研究業績データベースのバナーを貼りますので、そこからアクセス頂くことが可能です。

Q：入力時のタイムアウト時間は？

A：2時間で設定してあります。

Q：本データベースには学外からのアクセス、入力は可能か。

A：学外からのアクセス、入力は可能です。

Q：データのバックアップ機能は大丈夫か。1ヶ月毎に保存する等のルールを設けるのか。

A：外部ハードディスクへのバックアップを月次で行います。万が一サーバが故障した際は、その月の1日現在の状況にリストア（修復）します。

14. その他のQ & A

Q：教員の手間が省けるとのことだが、具体的にはどんなことがあるのか。

A：先生方が独自の方法で蓄積されている業績データを、今後は本データベースに一本化して頂ければ、東邦大学業績年報の刊行論文、著書、学会発表の該当箇所へ自動的に反映されます。また文科省や大学基準協会の指定書式に連動しているため、制定書式の個人調書等を出力することができます。

また運用開始時点では対応できていませんが、将来的に ReaD への一括情報提供も検討いたします。

Q：運用規程第12条の「教員が自らの責任の下で入力したデータの内容に関しては大学が最終的に責任を負うものではない」とはどういうことか

A：例えば教員が意図的に誤ったデータを入力したり改ざんしたりしたこと等により生じた問題等について想定したものであり、システム上の瑕疵や管理上の瑕疵等から発生した問題については管理者が責任を持って対応いたします。

Q：開発業者の(株)EDUCEとはどんな会社か

A：(株)EDUCEは、16の私立学校法人の出資により平成14年に設立した、主に学校事務におけるコンピューターソフトの企画・開発を得意とする会社で、本データベースの基本ソフトの「研究業績プロ」も既に数十の大学が導入した実績があります。